

泉中校区 小中一貫教育だより

平成 28 年 12 月 泉中学校・泉小学校・中村町小学校 発行

中学校授業参観・部活動見学 「中学生ってすごい！」

11月7日。泉小・中村町小6年生が参加した泉中学校への授業参観・部活動見学がありました。この日のために中学校の先生方、そして生徒のみなさんが準備を重ね、両校の6年生をあたたかく迎えてくださいました。



授業参観では、1年生から3年生までの授業を参観しました。真剣なまなざしで学ぶ姿、「シェアタイム」で考えを交流し自分達で解決しようとする姿と、中学生の授業に向き合う真剣さを感じた時間となりました。

その後、中学校生徒会のみなさんから泉中学校での生活や部活動のお話を聞かせていただきました。中学進学に向けた6年生のちょっと不安な気持ちも払拭できたようです。生徒会のみなさんの分かりやすいお話や6年生へのあたたかい言葉かけに「あんな中学生になりたい」という思いも大きくふくらんだことでしょう。



部活動見学では、各部の部長さんから、活動のアピールがありました。6年生にとって来年度からの中学校生活に向けた考えを膨らませるヒントになったようです。新校舎建設等の工事の影響もあり、限られた場所での部活動でしたが、見学をしながら自分達で活動を行っている中学生の姿の格好よさを感じることができました。

私は、泉中学校を見学して中学生はすごいと思いました。

そう思った理由は2つあります。1つめは、大勢の前で生き生きと話をしていたからです。私だったら、目が合うのが怖くてなかなか大きな声で話せません、特にすごいと思ったのは、2年生の生徒会の方です。まるで、一人一人に訴えかけるように話していてこんなふうになりたいと思いました。

2つ目の理由は、教室に入った時、誰も後ろを向く人がいなかったからです。ふつう、誰かがいきなり教室に入ってきたら、気になって後ろを向くと思います。なのに、ものおしせず、授業に取り組んでいてとても格好いいと思いました。

来年、中学生になったら、今日見た姿に一步でも近づけるように努力していきます。



- 私は、誘導してくれた2年生の方にあこがれました。理由は大きな声で堂々としていたからです。自分もっていないものをもっているのであこがれました。私もがんばっていきたいです。
- 部活を見学しているときにみんな一人一人が集中してやっていたのですすごいと思います。自分も部活をしっかり集中して努力したいと思います。先ばいのように中学生になったらがんばっていきたいです。

第2回 相互授業参観

泉中学校区では、「学び合い、学びを深める子」をめざす子どもの姿に設定し、授業研究をすすめています。11月22日には、今年度第2回目となる相互授業参観を行いました。泉中、中村町小の職員が泉小に集まり、授業の様子を参観しました。また、授業後には教科ごとに交流会を行い、児童生徒が考えや思いを交流させながら、学びを深める授業のあり方について話し合いました。



泉小学校では、「ともに学び 高め合う子」をテーマに、日々授業研究を行っています。学び合いの手立てとして、

- ・ペアで話し合う交流のあと、全体交流を行う
- ・グループで、進行役を決め話し合いを行う
- ・授業の終わりにふり返りを書き、学びのプロセスを確認する

など、どんな手立てが有効であるか確かめながら授業に取り組んでいます。

泉小学校の授業をもとに、各校での取組についても話し合いました。

泉中学校では、全学年・全教科において「シェアタイム」を設け、考えを交流し合うことで生徒一人一人の思考が深まる授業づくりを行っています。また、中村町小学校では、ペア・グループ活動を意図的に取り入れ、互いに説明し合い自分の考えを確かなものにする場を設定しています。

授業後の交流会では、こうした各校の取組についても話し合い、どうしたら児童生徒が考えや思いを交流させながら学びを深めることができるか、意見交流をすることができました。ここでは、

- ・「ペア・グループ学習」の目的を明確にすること
- ・自分の考えを話すことを大切にすること
- ・学び合いには段階があり、子どもの育ちに合わせた指導が重要であること
- ・「きく力」を大切にしていくこと

など、今後の指導に生かす視点を得ることができました。

今後も3校での交流を活発にしながら、「学び合い、学びを深める子」の育ちを支えていきたいと考えています。

第3回相互参観は、平成29年2月17日（金）中村町小学校 で行う予定です。

第2回 iPS サミット 平成29年1月19日

「あいさつの響く泉中校区」をめざして、1月19日にiPSサミットを行います。各校生徒会・児童会の子ども達が泉中学校に集まり、自分達にできることはないか、これまでの取組でよかったことは何か、足りなかったことは何かについて考え話し合います。子ども達が考えた取組を私たち大人もしっかりと受け止め、その実現に向けた支えとなりたいものです。